

環境・
リサイクル
分野

実施期間

2019~2020年度

実用化開発場所

南相馬市、いわき市

株式会社タジマモーターコーポレーション

EV使用済み電池のリユース確立を目指す いわきバッテリーバレー構想の発展にも寄与

事業計画

使用済みリチウムイオン電池を活用したバイパスシステムの実用化開発



超小型EV



多目的小型電動モビリティ「TAJIMA-NAO-8」



使用済みリチウムイオン電池を使用した開発試作品

事業概要

EV使用済みリチウムイオン電池からフォーアールエナジー社がリユースしたバッテリーを採用し、劣化が少なく高容量のものは弊社の低速域EVへの使用や、自社開発のバッテリーマネジメントシステム「TAJIMA バランスシステム」への使用によって、家庭用定置型蓄電池および業務用定置型蓄電池システムの実用化を目指します。

事業化への道のり

使用済みリチウムイオン電池はSOHにばらつきがあります。そのままバッテリーシステムに組み込むとSOHの低いセルに合わせた性能となり、十分に性能を発揮できません。前年度の成果目標であった家庭用定置型蓄電池の開発は、弊社電気自動車用バッテリー開発部署においてSOHを平均化して使用するマネジメントシステムが開発されたことから、自社技術での実用化開発を行いました。業務用定置型蓄電池の開発は小型分散型発電システム用系統連系装置としてJET認証の申請を行い、300V電圧の製品開発をすすめています。

※SOH(State of Health) …バッテリーの健全性を評価する性能指数

▶イノベ機構による支援 ※福島イノベーション・コスト構想推進機構(イノベ機構)によるイノベ構想関連開発技術の事業化支援(本冊子P.120を参照)

本事業は弊社単独での申請ですが、昨年度イノベ機構およびいわき市主催のビジネスマッチング会に参加させていただき、いわきバッテリーバレー構想との連携を図るとともに、地元企業との中期的な協力体制を築くことができました。具体的には、浪江町のフォーアールエナジー社からリサイクルバッテリーの供給を受け、いわき市の北都オーディオおよびホマレ電池工業で組立業務を行って実用化開発を進めています。

▶今後の展望

このたび弊社は、いわき市田人地区に廃校を利用した研究開発センターを開設しました。ここを拠点として地元企業と連携し、共に製品化を目指していきます。EV使用済み電池のリユースを確立していくことは、EVの普及だけでなく、スマートエネルギー社会の実現に大変重要なものであると考えます。



新事業開発室 福島プロジェクト
上 荒磯 祥彦

株式会社タジマモーターコーポレーション

〒165-0023 東京都中野区江原町三丁目35-3(本社)
 〒975-0036 福島県南相馬市原町区萱沼新赤沼83(新事業開発室)
 〒974-0152 福島県いわき市田人町旅人字和再松木平4番地

創業 1978年

従業員 206名

TEL 0538-66-0020(代)

URL <https://www.tajima-motor.com/>



廃炉

ロボット・ドローン

エネルギー

環境・リサイクル

農林水産業

医療関連

航空宇宙